



9/16

海苔の種付け

富津の産業の一端となっている海苔、この種付け後、ノリ網は冷凍保管、11月初旬になると沖の養殖場へ。



10/10

スポーツフェスタ

第5回となるふれあいスポーツフェスタ2005を開催。今年は雨天のため、総合社会体育館等で競技が行なわれた。



クリーンセンター

10/20

富津市新築にその姿が見えてきた富津市クリーンセンター。市民のし尿を処理するこの施設は、来年3月末に竣工。



防災訓練

県民の防災意識を高めるための「第26回八都県市合同防災訓練」が、大貫中学校を中心に実施された。

9/4

平成17年度の市民例会の11月号

平成16年度決算の認定や、平成18年度からスタートする指定管理者制度に関する条例整備が行われました

9月定例会が9月1日から27日までの会期27日間で開催されました。議案29件が上程され、このうち2件を全体審議、21件を担当の各常任委員会に付託、6件を決算審査特別委員会に付託し、審議を行いました。議案については、いずれも原案のとおり可決・承認・認定になりました。

また、陳情1件が提出されましたが、調査のため継続審査となりました。

議案の審議結果

平成16年度決算の認定

◎平成16年度富津市一般会計歳入歳出決算、各特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算 6件

詳細は第4面の決算審査特別委員会報告に掲載

公の施設に係る指定管理者制度導入に関する条例の制定及び一部改正

◎通則条例 1件

◎施設に関する条例制定及び条例改正 12件

これまで市で直営、または管理委託していた公の施設について平成18年4月から指定管理者制度が導入されます。(第3面のコラム参照) 制度適用施設については下表を参照してください。

補正予算案

◎一般会計補正予算

人事異動に伴う人件費の組替えのほか、児童福祉に関する基準等の改正や、クリーンセンター整備事業(汚泥運搬車購入等)、富津中学校校舎改築のための調査費用、災害復旧に関する事業費などの補正が行われました。

◎特別会計・水道事業会計補正予算 4件

人事異動に伴う人件費の組替えや、平成16年度決算の確定による精算のほか、国保・介護保険事業の追加に関する補正が行われました。

条例の一部改正案

◎富津市火災予防条例の一部改正

消防法等の改正により平成18年6月1日から新築住宅には住宅用火災警報器等の設置が必要になります。これに関する条文の整備を行いました。

◎法律名称変更に伴う関係条文の整備 2件

報告議案

◎一般会計補正予算の専決処分 2件

八都県市合同防災訓練に要する経費及び衆議院議員総選挙に係る経費の補正予算。

用語解説

◎1 特別委員会

議会の審議を行う委員会には常任委員会と特別委員会があります。特別委員会は臨時の事件、特に重要な事件等について審議を行うため、議会の議決により設置されます。

◎2 継続審査

調査等が必要で会期中に審議を決定することができない場合、議会の議決により審議を先延ばしすることができ、継続審査とされます。

◎3 専決処分

早急な対応が必要で、議会の招集する暇がない等の理由の場合、議会の議決が必要ない案件であっても市長が処分することができ、次の議会に報告・承認を得ます。

指定管理者制度 導入施設一覧

施設名	現在の管理者(委託先)	指定管理者の選定方針
総合社会体育館	(財)施設利用振興公社	富津市体育施設として管理者を一括公募
社会体育館	(財)施設利用振興公社	
富津運動広場	(財)施設利用振興公社	
新富運動広場	(財)施設利用振興公社	
浅間山運動広場	(財)施設利用振興公社	富津市立公園として現在の管理者を一括指定
青堀駅西口公園	(財)施設利用振興公社	
上総漁師公園	(財)施設利用振興公社	
浅間水公園	(財)施設利用振興公社	
神田横川面水公園	(財)施設利用振興公社	現在の管理者を指定
高宮山自然動物園	観光協会 関豊支部	
山中奥館給水施設	関豊給水施設管理組合	
各コミュニティセンター(5館)	各コミュニティ委員会	
各ふれあいシニア館(3館)	各シニア館 管理運営委員会	現在の管理者を指定
富津老人憩の家	老人クラブ連合会 富津支部	
大佐和老人憩の家	老人クラブ連合会 大佐和支部	
天羽老人憩の家	富津市社会福祉協議会	
福祉作業所	社会福祉法人アルムの森	現在の管理者を指定
富津呼荘	(財)施設利用振興公社	
金谷海浜公園	金谷連合会長会	
富津市民の森	森林組合、観光協会 関豊支部	
富津緑地(ふれあい公園)	(財)施設利用振興公社	富津市都市公園として現在の管理者を一括指定
ふれあい公園内有料施設	(財)施設利用振興公社	
各街区公園、都市緑地	(財)施設利用振興公社	

富津市議会会議録検索システムのご紹介

これまでは特定の場所ではしか会議録を見ることができませんでしたが、平成17年10月3日より市のホームページを通じて、いつでもどこでも誰でも会議録を見ることができるようになりました。インターネットの利点を活かし、検索システム等も充実していますので、是非ともご利用下さい。

<http://www.city.futtsu.chiba.jp/>

今後も議会の情報公開を積極的に進め、皆さまに必要な情報を分かりやすく提供していきますので、議会活動に対し、より一層のご理解を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

一般質問 代表質問

* 富津市議会には、現在2つの会派(新世紀の会、賢政会)があります。この会派の代表として行う質問が、代表質問になります。

代表質問の時間内(質疑・応答で120分)であれば、同じ会派の人が関連質問をすることが出来ます。

長期計画とまちづくり、中心市街地と道路整備の考え方について



新世紀の会
鈴木 幹雄議員

基本構想と平成18年度からスタートする基本計画との整合性を図るまちづくりとして、市庁舎を中心とした市街地整備の考え方について質問しました。

問 基本構想の持つ意味、また、重要性、扱い方について。

市長 基本構想は地方自治法に基づき策定するものであり、市の将来目標及び目標達成のための基本的な施策の大綱を明らかにするもの、また、長期的な展望に基づいて市の経営方針として位置づけられていくものと認識している。また、取り扱いについては、市における最上位に位置する計画として尊重するものとして考えている。

問 今までの基本構想は、それぞれの時代背景を反映したものであるが、基調にあるものは第1次産業を中心とした地場産業の振興を図りつつ、企業立地の促進と就業者の定住化を図り、自然と産

業が調和した活力あるまちづくりを進めている。

問 基本構想、第1次基本計画、さらには平成18年度からスタートする第2次基本計画での整合性はどのように図るのか。

市長 基本構想の最終年度の2015年を一区切りとして取り組む。また第2次基本計画の方向性は基本的には基本構想及び第1次基本計画のまちづくりの考え方、方針を踏襲する考え方であるが、状況の変化に応じた施策、事業、手法等を適宜見直し、まいりたい。

問 第2次基本計画の内容について。

総合政策部長 市長の政策あるいは施政方針を強く位置づけると共に全体の計画の策定は財政フレーム等との整合性を図りつつ各種事業の調整をし内容を決定していく。

問 市庁舎を中心としたまちづくりについて。

総合政策部長 神明山の区画整理が挫折したのは、大きなダメージだったが、中心市街地については、業務関係の集積並びに青堀駅から大貫市街地にかけての線的な道路整備を中心とし、市庁舎から南部分の道路に面した道路沿いの土地利用について推進を図っていく。

建設部長 市街化区域から逆線引きで市街化調整

区域に方向転換しても公共施設や民間事業者における公益施設は可能であり、本庁舎周辺への公的施設の配置については行政機関を中心とする業務施設の集積を図っていくことが肝要であると考えている。

問 市民公募債の活用について。

財政部長 市民公募債は市民の行政参加を促すという面では効果があるが、政府資金と比較すると償還期間が短く、また、満期一括償還であったり、発行金利が高いなどのデメリットがあるので当面は政府資金の活用をしていきたいと考えている。

問 コンパクトシティをまちづくりのひとつとして考える事ができるか。

建設部長 コンパクトシティに該当するかどうかかわからないが、駅周辺等の活性化を図ることや将来の富津市のまちの在り方を考え、一部平成18年度から交付金制度を取り入れていく方向で、国・県に相談して進めている。

問 市内の道路整備について。

建設部長 最重要の幹線2号線、北笹塚大貫線は県と協議を図りながら進めている。また、交付金事業については採択されれば青堀駅東口1号線を始め坂口線などの整備をしていきたい。さらに、市内各路線の建設、改良等に務め市民の利便性の向上を図ってまいりたい。

富津市基本構想

市制施行30周年の平成13年(2001)に作られた富津市基本構想(写真)。この中では、平成27年(2015)までの15年間の、富津市の将来像を描いています。この基本構想を基に、5年ごとに基本計画をつくり具体的に取り組んでいます。今年はこの第1次のプランが終る年であり、来年4月から第2次の計画がスタートします。この冊子は市役所1階の「行政資料コーナー」で見ることが出来ます。



富津市の南部で山間部(志願1189)に位置する環南(かんなん)小学校は全生徒数が13名。内訳は、1年生1名、2年生3名、3年生2名、4年生4名、5年生1名、6年生2名で、全ての学年が複式学級となっています。

環南小学校

図書館、福祉保健センター施設の建設について



賢政会
澤田 春江議員

問 検討委員会での進捗状況をお伺いします。

市長 先進事例等参考に建設適地、整備手法等の検討を進め、基本計画に位置づけを参りたい。

問 財政難な折りの事業であることから「文字活字文化振興法」による国の助成を建設費又は蔵書購入に活用したらどうか。

総合政策部長 振興法についてはよく勉強・検討していきたい。現在は基本計画に重要なセーブルスポイントとして位置づけをする段階である。

問 新図書館が完成するまで近隣の図書館利用の制限(予約サービス)緩和の交渉をして欲しい。

教育部長 当市も予算内で予約サービスに対応しているのので理解頂きたい。

問 教育行政について。

問 ゆとりある教育の反映ではと言われる学力低下の問題の状況はどうか。

教育長 学力の評価は学習指導要綱の目標への到達度で判断。おおむね平均値に近い。思考力、知識理解が学年や教科に若干劣る傾向があったが、年々わずかに向上しつつある。教育の質を高めるために研究指定校、教職

員研修等を推進、展開。

問 食育問題として正しい食習慣の指導の必要性をどう位置づけているか。

教育長 教育指針に食に関する指導の充実を掲げ、食と健康に視点を置き指導をしていく。

問 理科離れ、読書推進についての取り組みは。

教育長 学校での朝の読書、家庭での読書活動の推進、ボランティアによる読み聞かせなど、学校、家庭、地域のネットワーク化を進める。理科等の専門的かつ高度な知識を必要とする教科は、地域の企業や退職者等による指導者のボランティア、協力者を募り支援を頂く。

少子高齢化に対する施策



賢政会
長谷川 剛議員

富津市の8月1日現在の人口は5万247人で前年より745人減少し高齢化率は25.2%、平均年齢は46歳になりました。この状況を踏まえて質問を致します。

問 子育て支援センターの早期整備が必要と考えますが。

市民福祉部長 市内3ヶ所設置にむけて努力いたします。

市民福祉部長 優遇措置を実施していますが職業能力向上や求職活動の支援等自立支援も進めてまいります。

問 小中学校や公的施設のアスベストの使用状況調査の状況は。

教育長 職員が目視と設計図で現地調査中です。

要望 早期に調査、検査をして市民に情報公開して下さい。

問 小中学校統廃合の取り組みの状況は。

教育長 義務教育水準の向上を最優先にして検討委員会を考えていく。

問 地域包括支援センター早期設置を望むが。

市民福祉部長 現在設置に向けて詳細を詰めています。

問 高齢者支援で介護予防・生活支援施策の充実拡充を図って頂きたい。

市民福祉部長 国の新介護保険制度に則り進めていきます。

要望 高齢者を悪徳業者等から守る為に行政による成年後見制度の活用も図って頂きたい。

問 災害時、高齢者等の災害弱者を守る為の施策を充実して頂きたい。

総務部長 自主防災組織の拡充を図っていく。

要望 少子高齢化時代において子育て、防犯、防災対策では地域は地域で守るという意識と結束が必要だと思えます。行政と地域の連携を進めていくことが重要と考えます。

少子化に対する具体的な施策について



市長 高橋 裕二

問 少子化に対する考え方と今後の姿勢について、市長「いいじゃないかーふっつ」に基づき計画的に推進していく。重点的な施策として保育所待機児童ゼロを維持、小規模学童保育の充実、

問 そもそも富津市の少子化の要因は何か。

総合政策部長 富津市役所の統一見解というのを議論したことはなく、はつきりわからない。

同 不妊治療の補助について市独自で補助事業を行うつもりは。

市民福祉部長 県が事業主体となって実施しているもので、そちらを利用していた方がいい。

問 国・県の補助だと対象となる治療法が限られてしまうが、単独事業であればきめの細かいサービスが提供できるという違いがあり単独事業として取り組む価値はあると思うが、市長は不妊治療の補助についてどういう見解か。

市長 不妊治療の補助も有効的だと思う。不妊の対象者がどれくらい市内にいるのか、その辺りを調べていきたいと思う。

国民健康保険の財政運営について



市長 山崎 二郎

問 国民健康保険は、平成14年度末約8億2千万円の余裕資金があったが、今年度には積立基金がゼロになる見込みです。この国民健康保険の急速な悪化の要因はどこにあるのか。

市長 要因は、①保険給付に見合った保険料の賦課がされていないこと②老人保健へ移行される高齢者がそのまま国保に残っていること③介護保険納付金が大きく伸びていること④医療費が伸びていることが上げられる。

問 要因の②は、本来70才から74才の人は老人会計に行くところが順次国保会計に残りました。その人数と金額は。

市民福祉部長 16年度末で1222人、医療費は約6億9700万円と見えている。

問 ここ2、3年の国保財政悪化の中で、引続き前期高齢者が18、19年と国保会計に残ると、国保財政が苦しくなるのは目に見えています。来年度の基本方針として、一般会計からの法定外繰入など検討すべきではないか、市長 一般会計からの法定外繰入については行わない。

観光客の増加施策について



市長 山崎 二郎

問 観光客の集客施設建設は、市長は特産物を一堂に販売する所がないので設置を検討すると答えているが、検討結果は。

市長 10月に検討委員会を開き検討する。

問 四季折々に花いっぱい運動を、市民の協力を得て商店や住宅前に四季折々に花を植え街を明るくする運動を行って、市長 公共施設や駅に花を植えており、引き続き環境の美化を推進する。

問 市の特産物は、市長は食べておいしい物を検討すると答えているが、

討すると答えているが、市長 富津黒かぼちゃが味が良く売れているので新たな特産物にしたい。

問 滞在型観光は、市長は観光団体と連携をし、修学旅行やスポーツ合宿等の誘致を進めると答えているが、具体的には、市長 誘致活動や受入態勢の整備を進めている。

問 体験型観光は、市長は遊休農地の活用や新たな体験の創造と発掘をすると言っているが、内容は、市長 相川地区の風と緑の里では、市内外の農家が農業体験を行い遊休農地の活用をしている。今後新たな発掘とPR活動を推進する。

富津市第2次基本計画の策定について



市長 山崎 二郎

問 一点目、富津市第2次基本計画策定に当たり、基本的な考え方として、主要指標である将来人口フレームの考え方、本市を取り巻く現状の分析と市民ニーズの把握について、親しみのある基本計画への反映をどのように検討されているのか、そして第2次策定には第1次の評価が重要であると考えますが、どのように評価されているのか、市長 第2次基本計画の策定に当たっては、その作業指針となる基本方針を

定め、取り組んでいるところですが、その主要項目となる人口フレームについては、基本構想策定後の趨勢に今後のまちづくりの進展に伴う動向も考慮し、適切な目標数値を設定したいと考えています。また、市民アンケートや市民懇談会の意見について分析を行い、必要な施策を計画に反映させるとともに、計画書の構成も文章主体のものから各施策の現状を説明するためのデータや写真、用語解説等も取り入れたものに改め、市民の皆様にも分かりやすく親しみの持てる計画書にしたいと考えております。

行政運営における民間活用の方



市長 山崎 二郎

市の予算の15%（25億円）を占める委託料に焦点を当て、行政改革の観点から質問しました。

問 民間委託・移管を行う際の判断基準は、市長 質の向上やコスト削減等、効率・効果を考え、公・民の役割分担等総合的に判断している。

問 委託経費は適正か。

*財政 業務内容を精査し、再チェックの必要がある。

問 PFI導入の考え方、市長 専門機関も交え、他の手法も選択肢に入れながら柔軟に取組む。

問 具体的な対象事業は、政策 現段階では未定。

問 行革ではPFI手法の検討は完了項目だが、政策 基本的な考え方と手法を示すのが目的である。

問 素地・手法を活かして、実行により効果を求めることが改革の目的では、政策 効果は違うところを求めていると考える。

問 民間委託するとサーピス向上とコスト削減が同時に図れるのはなぜか。

*総務 今の社会状況下では民間委託が有利。

問 行政の高コスト体質が問題なのは、総務 職員削減と委託の兼ね合いがこの数年のポイントになると考える。



指定管理者制度とは？

9月定例会では、平成18年度から導入しようとする指定管理者制度について多くの議論がありましたので、その制度の概要をお知らせします。

市では、公の施設の管理を行う場合、市が直接管理するか、市が出資している法人〔(財)富津市施設利用振興公社〕などに管理を行わせています。平成15年に法律の一部が改正になり、これらの施設をより効果的、効率的に活用するために、民間事業者のノウハウなどの活用ができるように民間の法人や、その他の団体に管理を行わせることができました。この制度が指定管理者制度です。（民間活力の導入）

指定管理者制度を進めるに当たっては、対象とする施設の設置目的や利用状況などを勘案して、条例を制定したり変更しなければなりません。さらに、富津市として統一した考え方や方針をもって進めていく必要があります。市の説明では、95施設が対象施設になりえるとの説明です。

個々の施設については、市が直接管理を行うのか、指定管理者とするのか、また、指定管理者とする場合、募集方法として、公募する施設と、しない施設を検討され、新規条例や一部改正条例13件が議案提出されました。指定管理者制度を導入するに当たり、議論の焦点はおおむね次の3点でした。



対象となる富津市総合社会体育館

1. 指定管理者制度を導入した場合、どのように利便性が向上するのか。
2. 公募しようとする施設と、しない施設の振り分け方について。
3. 個々の施設の現状と将来見通しについて。

指定管理者制度導入の主なスケジュール

- 平成17年9月
条例等の整備・議会の議決
- 平成17年11月
指定候補者の選定・仮協定の締結
- 平成18年3月
指定に伴う議会の議決・協定の締結
- 平成18年4月
指定管理者による管理運営開始

総務・教育 常任委員会



委員会付託議案4件………全議案可決
陳情1件………継続審査

○議案第3、4号は、指定管理者制度に関する条例の制定についてです。

【審査内容】議案第3号は、富津市の公の施設に係わる指定管理者の指定に関する公募・指定の申請・指定候補者の選定・選定結果の通知・協定の締結・指定の取り消し・個人情報の保護等の事項を定めるための通則条例を制定しようとするものです。

議案第4号は、指定管理者に社会体育館、市民運動広場及び浅間山運動公園の管理を行わせるため、現行の条例を一括して廃止し、これらの施設を統合した条例を新たに制定しようとするものです。開館及び開館時間等の質問がありました。

○議案第18号 富津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

【審査内容】平成18年6月1日から新築住宅には、住宅用火災警報器等の設置が必要となるため条例の一部を改正しようとするものです。

○議案第19号 平成17年度富津市一般会計補正予算(第3号)について

【審査内容】人事異動による人件費等の補正です。

○陳情第14号 公共事業における発注形態の見直しについての陳情書(陳情者/富津建設センター協同組合)

【審査内容】慎重審議を重ねましたが継続審議となりました。

常任委員会の結果

富津市の場合は3つの常任委員会から成り立っていますが、この分け方は各自治体によって様々です。

民生・水道 常任委員会



委員会付託議案9件………全議案可決

○議案第8号～11号は、指定管理者制度に関する条例の改正についてです。

【審査内容】富津市地区コミュニティセンター、富津市ふれあいシニア館、富津市老人憩の家、富津市福祉作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正しようとするものです。これらの施設は、地域の皆様に管理委託されており、引き続き現在の管理団体を指定管理者として指定する予定です。

○議案第19～23号は、平成17年度の各種の補正予算についてです。

【審査内容】一般会計では、私立保育所の補助金単価改定、新規事業として障害児保育円滑化事業に伴う補正、国保会計では、保険者支援事業「健康あじょかいな」に関する補助金継続等の補正、老人医療会計では、平成16年度医療費確定に伴う補正、介護保険会計では、介護給付費確定、要介護認定モデル事業、*特定入所者介護サービス事業に係わる補正、水道事業会計では、人事異動に伴う人件費の補正等について審査しました。

*特定入所者介護サービス事業とは、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設入所者のうち、低所得者の食費・居住費自己負担分に配慮したサービスです。ご利用には申請が必要です。

建設・経済 常任委員会



富津市クリーンセンター完成予想図

委員会付託議案10件………全議案可決

○議案第5～7、12～15号は、指定管理者制度に関する条例の制定・改正についてです。

【審査内容】議案第5～7号は、高岩山自然動物公園、市立公園、簡易給水施設の設置及び管理に関する条例の制定や全部を改正しようとするものです。議案第12～15号は、簡易宿泊施設(富津岬荘)、海浜公園、市民の森、都市公園(ふれあい公園内有料施設を含む)に関する条例の一部を改正しようとするものです。利用者の利便性の問題や指定管理者の募集方法についての質疑がありました。

○議案第16、17号 富津市農業近代化資金利子補給条例、富津市漁業近代化資金等利子補給条例の一部を改正する条例の制定について

【審査内容】現行の法の名称が改められたことから、関係条例の条文を整備しようとするものです。

○議案第19号 平成17年度富津市一般会計補正予算(第3号)について

【審査内容】経済環境部関係はクリーンセンター整備事業費、特産物販売施設等集客施設設置に関する検討事業費や、豪雨による農林水産業施設災害復旧費にかかる補正です。建設部関係は公共用財産調査管理事業、道路新設改良事業、高速道路対策事業、豪雨による公共土木施設災害復旧費に係る補正です。

決算審査特別委員会は、予算が適正に効率よく使われたかを審査し、審査結果を次年度の予算に反映させるための特別委員会です。

決算審査特別委員会

○議案6件 原案認定

○現地調査 4カ所

かずさクリーンシステム(4市のごみ焼却場)
富津市クリーンセンター(し尿処理場)
市道売津梨沢線
淡地域排水整備工事

議案第24号 平成16年度富津市一般会計歳入歳出決算の認定について

【審査内容】特別会計に属さない福祉や商工業、建設、教育、消防など住民に広く行われる事業についての審査を行いました。

議案第25号 平成16年度富津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【審査内容】国民健康保険事業の成果や今後の拡大見込み事業などについて質疑がありました。

議案第26号 平成16年度富津市老人医療特別会計歳入歳出決算の認定について

【審査内容】70歳以上の老人に医療給付を行うための老人医療特別会計の審査を行いました。

議案第27号 平成16年度富津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【審査内容】介護保険法の改正や基金の活かし方などについて質疑がありました。

議案第28号 平成16年度富津市水道事業会計決算の認定について

【審査内容】今後の経営見通しや未徴収金対策、石綿管交換計画などについて質疑がありました。

議案第29号 平成16年度富津市温泉供給事業特別会計決算の認定について

【審査内容】金谷地区の旅館5戸、一般家庭17戸に対する温泉供給事業について審査しました。

会計名	歳入総額(単位:円)	歳出総額(単位:円)
一般会計	17,232,233,092	16,650,063,648
国民健康保険	5,305,517,459	5,185,979,309
老人医療	4,315,213,712	4,309,453,762
介護保険	2,630,928,550	2,579,097,956
水道事業	1,539,134,612	1,551,437,880
温泉供給事業	1,351,628	1,569,029

平成16年度決算

市議会を
傍聴しませんか!
12月定例会開催予定
11月30日(水)開会
議案の上程
提案理由の説明
12月7日(水)一般質問
会派代表質問
8日(木)一般質問
個人質問
12日(月)議案質疑
委員会付託
14日(水)常任委員会
15日(木)常任委員会
16日(金)常任委員会
21日(水)閉会
委員長報告
議案等審議
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局(80・1331)にお問合わせ下さい。

後記



秋はすがすがしい。実りの秋、スポーツの秋、食欲の秋、行楽の秋、読書の秋、どれをとっても良い季節です。スポーツで汗をかき減量に励むも食欲の秋に負け、体重計に乗るたびに体重が増えているぞー食べながら減量に努めるぞーなどと矛盾する自分に気付く。

9月18日の仲秋の名月、柔らかな月の光り、皆さんも見ましたか。月の色の変化。月の色は最初は赤く、昇るにつれ黄色から白に変わっていく空を眺めていると秋の夜長を感じます。こんな爽やかな季節のなか、議員が作るようになつて2号目の議会だよりも完成しました。(としお)